

▽ 下地 賀代子 准教授 SHIMOJI, Kayoko



所 属：総合文化学部 日本文化学科  
 担当科目：日本語学入門、日本語学概論、琉球語学概論、  
 琉球語学特講、卒論(4年次)、ゼミ(3年次・4年次)、  
 日本語文法論、認知言語学、アカデミックライティング

学歴等のプロフィール

- ① 【主要学歴】②【学位】③【所属学会】④【主要な社会的活動】

① 千葉大学大学院 社会文化科学研究科(博士課程)修了
② 博士(文学)
③ 日本語学会、日本言語学会、日本語文法学会、千葉大学日本文化学会、琉球大学言語文化研究会、奄美沖縄民間文芸学会、沖縄文化協会、沖縄言語研究センター
④ 1) 職歴・研究歴：法政大学沖縄文化研究所国内研究員、千葉大学非常勤講師、国立国語研究所共同研究プロジェクト PD フェロー(プロジェクト名「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」) 2) 受賞歴：2004 年度沖縄言語研究センター仲宗根政善記念研究奨励賞(2004.7)、第 28 回沖縄文化協会賞金城朝永賞(言語部門) 受賞(2006.9)

教育活動等

主な教育活動	年月日	摘要
1. 教育活動・方法 1) CALL 教室の活用 科目名：琉球方言学概論	2011.4～2015.3	1 言語としての琉球語の語学教育に、他の外国語科目と同じく CALL 教室を活用している。また e-Learning を利用して、授業内はもちろん授業外の学生の自主学習にも役立つように琉球語の教材・課題を作成している。
2) リテラシー入門 I・II	2011.4～2015.3	1 年次を対象とする演習授業で、大学生として必要となる「アカデミック・スキル」の習得と養成を目的とする。即ち、情報収集力、分析力、思考力、批判力、発表力、論文記述力等、言語を中心とした能力を自律的かつ協同的に学ぶことを目指し、本学科における学びの基礎を養成する。

<p>2. 学生支援活動</p> <p>1) 琉球語スピーチコンテストの開催</p> <p>2) 就職試験対策講座の担当 講座名: 就職論作文対策</p>	<p>2012.2~</p> <p>2012.5~</p>	<p>外国語センター(現)主催のイベントとして、全学対象に琉球語スピーチコンテストを毎年2月に開催している。詞や絵本の朗読、スピーチなどを、いずれも琉球語に翻訳した詩、文章によって行う。</p> <p>就職論作文の対策講座を担当している。論作文の目的などの概要を説明した後、文章の基礎的知識の確認と練習、また文章構成の作り方と発想法の解説、実践練習などを行う。また、沖縄県内企業の過去の論作文テーマの一覧表を作成し(キャリア支援課調べ)、紹介している。</p>
<p>3. 学外での活動</p> <p>1) 『恩納村史: 言語編』の調査・執筆担当</p> <p>2) 奄美沖縄民間文芸学会・会計担当</p> <p>3) 沖縄言語研究センター・庶務会計担当</p> <p>4) 日本語文法学会・大会運営委員</p>	<p>2011.4~</p> <p>2013.4~</p> <p>2016.4~</p> <p>2016.4~(2018.3)</p>	<p>恩納村史の1巻として「言語編」の刊行が計画され、恩納村の全集落を対象とした調査が2009年より行われている。2011年4月よりその調査・項目執筆担当者の1人となり、臨地調査の実施、調査・執筆者会議への参加、原稿の執筆をおこなっている。</p> <p>奄美・沖縄のフォークロア(民間伝承)の研究者が集まる学会に所属し、会計を担当している。</p> <p>琉球各地方言の研究者が集まる学会に所属し、庶務・会計を担当している。</p> <p>日本語文法の研究者が集まる学会に所属し、大会運営委員を務めている。</p>

## 研究業績等

【 主要論文及び主要著書 】

『つかえる！たらまふつ辞典—多良間方言基礎語彙』(編著)2017.3 多良間村教育委員会  
「琉球・多良間島方言の「移動の表現」に関わる動詞の類型(Ⅰ)—ヒト=イキモノの移動の表現—」2016.3『琉球大学 言語文化論叢』13  
『琉球のことばの書き方』(共著、第2部8章「多良間方言」担当)2015.11 くろしお出版  
「南琉球・多良間島方言の格再考—ni:格, Nka 格を中心に—」2014.5『国立国語研究所論集』7  
「南琉球・多良間島方言のオノマトペの形式」2013.10『沖縄国際大学日本語日本文学研究』17-2  
「南琉球・多良間水納島方言の名詞の格形式」2012.3『沖縄国際大学日本語日本文学研究』17-1  
「南琉球・多良間水納島方言資料:民話「マディの知恵」」2011.10『日本語日本文学研究』16-1  
「南琉球・多良間島方言の基本的なja 構文について」2011.5『国立国語研究所論集』1  
「石垣・宮良方言の係助辞-du の文法的意味役割」2010.9『日本語文法』10-2  
「形容詞の語彙的意味と形式の相関—琉球・多良間島方言—」2008.3 千葉大学文学部『人文研究』37  
「琉球・多良間島方言のパーフェクトの形式」2006.10『日本語の研究』2-4  
「多良間方言の空間と時間の表現」2006.9 学位論文(千葉大学)

## 研究分野

日本語および琉球語(特に南琉球)の文法論

## 【Eメール・ホームページ等】

kshimoji@okiu.ac.jp

平成 29年 4月 20日現在